

あおもりアースレンジャー活動報告書

平成23年 10 月 10日

環 境 政 策 課 長 殿

活動内容を次のとおり報告します。

氏 名	加藤とし子
電話番号	
活動期間	平成23年度上半期（H23・4・1～H23・9・30）
活動地域	弘前市
活動内容	<p>1 普及啓発活動・・・西小学校安全ボランティア隊&ごみ拾い 期 間：4月～9月 5：30頃～8：30頃まで ひと月の内、お休みするのは3～4日で殆ど日課的な行動継続。 場 所：自宅～城西大橋～市水道部～常盤坂～岩木川バイパスまでの茜通り 自宅～城西大橋～弘前公園外堀～一番町坂下交差点～裁判所～市役 所前～市水道部～茜通り～自宅（時に土・日は、駒越通りや藤代～ 浜の町、本町・鍛冶町、南糖町通り）</p> <p>対 象：通勤・通学・一般市民 人 数：不特定多数 内 容：ごみ拾い&西小学校安全ボランティア隊として登校指導 所 感：早朝ジョキングやウォーキング市民、通勤者、学生さんとの挨拶の キャッチボールから始まる。 今日では、学生さんの方から挨拶を掛けてくれるようになり、とかく 若者のポイ捨て行動が多いと言われていることもあり、タバコの吸い 殻を拾っている行動を認識してもらう上で効果はあると私は思っ ています。 ごみ拾い行動により、自宅前歩道をお掃除する方や、夕方にごみ拾 いをする方、早朝散歩をされている方からの声かけが多く常連さん も多くなった。 バスの運転手さんからは、「バス停をきれいにしてくれて」と感謝の 言葉も頂きました。 障がいを持っている方に朝の挨拶がけを続けてきたことで、相手側 からも声が返ってきたり、手をあげて行く方も出てきた。 最近では、40代の女性が「清掃ボランティア」と自分で作った名札 を下げて、ごみ拾いをされる方や職場でごみ拾いを実践されている 市職員も出てきました。 ごみが落ちていないのが当たり前の状況づくりによって、たばこの 携帯吸い殻いれ所持者や歩道上のごみを拾ってくれる小学生、ウォ ーク中の一般市民への意識啓発活動になっていると実感。</p> <p>★ 以前提出の報告書にチョット追加しました。</p>

2. まちかど広場クリーン大作戦

日時：平成23年4月10日（日）9：00～12：00

場所：白銀広場～蓬莱広場～駅前公園広場

対象：子ども・学生・一般市民

内容：私が担当の広場には、ボーイ・ガールスカウトのメンバーが集まり、二手に分かれて拾い11：00には蓬莱広場で状況報告。

その後は主に裏通り側溝のごみを拾い歩き駅前広場まで、最終報告。

所感：「ひろさき環境パートナーシップ21」主催の4月恒例のごみ拾いは常連参加者にとって前年との比較分析の声も・・・継続は力なり！！

3. アースレンジャー研修

日時：平成23年7月2日（土）10：00～15：00

場所：県庁西棟7階B会議室

対象：青森県地球温暖化防止活動推進員

4. 県環境教育サポーター研修

日時：平成23年8月20日（土）13：30～

場所：アピオあおもり

対象：環境教育サポーター

所感：「買い物ゲーム」のみの参加でしたが、繰り返し、繰り返しの研修が大事だと実感。

5. その他として弘前地区環境整備事務組合の行政視察

日時：平成23年9月28日～30日

場所：豊田市環境学習施設（eco-T）・渡刈クリーンセンターほか伊勢原市

内容：省エネ・代エネ、3Rなど身近な生活環境を学ぶ環境学習の場を整備し、総合的に学習する事で、環境にやさしい行動ができる人づくりを目指す。という目的で、「NPO 法人とよたエコ人プロジェクト」が豊田市から委託を受け、学校や一般の施設見学対応や主催講座やイベント、学校や地域への出前講座、人材育成、HP 更新、eco-T 通信の発行などの活動をしている。

所感：施設インタープリター（エコライフへの案内人）のお話は、映像を見せながら、ときどき質問したりなどコミュニケーションをとりながら、楽しく環境について学べるインタープリター方式という事で、案内人の方と名刺交換もして来ました。

★ 展示室には、東京の「ストップ・おんだん館」（事業仕分けで JcccA トップページに統合された）の備品を引き受けたとの事で展示されていた。

